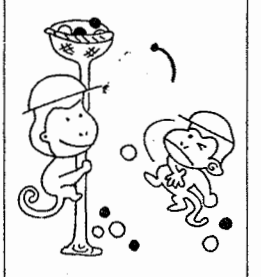




発行
西郷町城北町
隠岐病院長



新院長就任



院長 大田 宣弘
おた ひろあき

はじめまして、この度、病院長に就任いたしました。よろしくお願いたします。これまで、島根県立中央病院に勤務しており、平成六年より同病院に総合診療科を設立し、これを確立することに専念して参りました。従いまして、今後その理念に沿った医療を行いたいと思っております。総合診療科の基本的な考え方は、「患者さんの利便性を最重視し、総合的な質の良い医療を提供する」ことなのです。

このために、まず次のようなことを行います。

一、隠岐病院憲章の制定

病院の進むべき方向を明確にし医療方針を職員あるいは患者さんに周知徹底するために、病院憲章を制定し、各部署に掲示します。これを読んでいただければ、今後の隠岐病院の医療の基本的な姿勢を理解していただけたと思います。
(次頁に掲載)

二、再診予約制の実施
サービス業の中で、待ち時間のもっとも長いのが病院だと言われます。これを解決するには、今のところ再診予約制の実施しかありません。予約のできない患者さんもあり、問題もあると思いますが、何とか工夫して待ち時間の短縮を図りたいと思います。

三、一患者一診療録の実施

現在は、内科・外科など、各診療科で診療録（カルテ）を作っています。しかし、患者さん中心の総合的な診療を行っていくために、これを改め、一患者一診療録にいたします。このようにすれば、例えば内科で治療中の患者さんが外科を受診された場合でも、内科での検査所見や治療内容が一目で分かります。

四、説明・同意の推進

インフォームド・コンセントという言葉をよく見られるようになったと思いますが、日本の古くからの習わしで、現場ではあまり実践されておりません。検査や治療に対する「自己選択権」「自己決定権」は、法的にも守られた、患者さんの基本的権利です。納得が

いくまで質問し、説明を受けていただきたいと思えます。充分に説明をし、同意を得て医療を行うことを推進いたします。

五、救急医療について

皆さんの最もご心配な事項だと思います。離島というハンデを少しずつでも克服するように努力しております。平成九年四月から「防災ヘリコプターによる救急患者の搬送制度」も発足いたしました。今後、「救急時の輸血血液の搬送」さらには「医療チームの緊急派遣」なども検討していきたいと思えます。

本年四月には、「隠岐保険・医療・福祉提供体制整備推進協議会」も発足し、隠岐医療圏域における医療提供体制の整備充実も検討されております。隠岐病院は、これら政策医療にも積極的に参画し、病院憲章にもうたったような医療サービスを提供するように努力いたします。

今後とも病院運営に対するご協力をお願いいたします。



隠岐病院憲章

一、 隠岐病院は、社会機能の一環として、隠岐の住民の健康と生活の質の確保を目的とした医療サービスを提供する。

二、 隠岐病院は、生命の尊重と人間愛を基本として、常に医学的水準と医療水準の向上に努め、専門的かつ、理論的な医療サービスを提供する。

三、 隠岐病院は、隠岐の住民に対して公正かつ、普遍的な医療サービスを提供する。

四、 隠岐病院は、隠岐の住民の安心と満足を目的として、意欲的に活動し患者さん中心の医療サービスを提供する。

五、 隠岐病院は、町村の医療計画に基づき、本院の機能と役割を明確にし効果的で効率的な医療サービスを提供する。

お知らせ

糖尿病教室

□□□□□□□□

○十月七日（火）午後七時～

五箇村地域福祉センター

「糖尿病とは？」

○十月二十四日（金）午後七時～

布施村老人集会所

「糖尿病とは？」

「糖尿病と高血圧」

○十一月八日（土）午前十時～

糖尿病教室

「屋外レクリエーション」

☆詳しくは内科外来・相談室へ

母親教室

□□□□□□□□□□□□□□□□

○毎月第三水曜日（前期教室）

内容①妊娠中に起こりやすい異常

②栄養について

③日常生活動作

④乳房の手入れ

○毎月第一水曜日（後期教室）

内容①分娩のすすみ方

②呼吸方の練習

③入院の時期と方法

④必要物品

⑤病棟あんない

時間（午後一時三十分～三時）

場所（隠岐病院二階講義室）

☆詳しくは産婦人科へ

平成9年10月1日からの内科の診療は下記のとおりです。

内科外来診療表

	月	火	水	木	金
① 新患・急患 診	大田	原	数 ^{かず} 森 ^{もり}	大西	大田
② (再診) 診	大西		原		大西
③ (再診) 診	原	数 ^{かず} 森 ^{もり}	小 ^こ 出 ^{いで}	数 ^{かず} 森 ^{もり}	小 ^こ 出 ^{いで}
神経内科 (午後)				小 ^こ 出 ^{いで}	

薬は正しく服用しましょう！

今月の十七日～二十三日までは、「くすりと健康の週間」です。今月と来月の二回シリーズで「薬の飲み方」についてご紹介いたします。

普段何気なく服用している薬ですが、薬を飲み忘れたことはありますか？良くなったからと言って勝手に服用を中止したことなどないでしょうか？

どんなに良い薬でも、正しく服用しなければ効果は期待できません。「どうしたらいいのかな？」と思われる事柄を中心に薬を正しく飲むポイントを簡単にまとめてみました。

Q1 水なしで薬を飲んでもいいですか？

水なしで薬を飲むと、食道に引っかかり、そこで溶けてしまい、食道炎や潰瘍を起こしたりする場合があります。また、お茶や牛乳などと一緒飲むと、薬の成分と化学反応を起こしたりして、薬の効き目が悪くなったりする場合もあります。特にお酒は、薬の副作用を増強することがありますので絶対に一緒に飲むではいけません。

水には薬を溶かす働きがあります。必ず、コップ一杯の水で薬を服用しましょう。

Q2 薬を飲み忘れた時どうすればいいの？

次の服用時刻まで充分な時間がある場合は気がついたときにすぐ飲みましょう。その後は気づいたときまでと同じ時間だけずらして飲み、翌日からは決められた時間に飲んで下さい。もし、次の服用時間に近かった場合は忘れた薬はぬいて次から決められた時間に服用して下さい。忘れたからと言って二回分を一度に飲むようなことは避けましょう。

次号にて「その2」を掲載予定です。お楽しみに！



意見箱コーナー

「その1」

整形外科外来での診察着は、一人一人新しいものにして欲しい。肌に直接触れるものなので気持ち良くないし、衛生上も良くないのではないのでしょうか？コストが高つくのなら医療費に入れてもいいので個別にしてほしい。着るときに変な臭いがするものもありません。それとパンツなどのデザインも、もう少し考えられてもいいのではないかと。余りにもひど過ぎる。機能性だけでなく、患者の身になって考える医療が必要ではないか。

整形外科より：診察前に、診察がしやすいような衣服に着替えていただきます。そのため着替えを整形外科外来診察準備室に置いてありますが、ご自分で持参されても結構です。持参される場合は左図を参考いただきますようよろしくお願いいたします。



☆診てほしい部位	☆衣服
腰から下 (大腿・下腿 膝・股関節など)	短パン
腰	短パン・Tシャツ
腕・手	Tシャツ
首	ランニング

注意！
くつ下
ストッキングは
脱いで下さい

※これからの季節衣類も厚くなります。診察をスムーズに行うためご協力をお願いいたします。

「その二」

「宮崎先生どうもありがとう」

私は、宮崎先生に二年ほどお世話になった患者Tです。おバカな私は、それこそ宮崎先生に多大なご迷惑をお掛けし、色々メンドーをかけました。私は本当に成績の超悪い患者で、手がかかったことでしょう。

先生、四国へ帰っても隠岐へ遊びに来てくださいね！。

あと、診察日が月・水・金になったので間違わないようにしたいと思います。今までズーッと（手銭先生の頃から）火・木だったので…。先生、ご苦労様&ありがとうございました。



☆患者さんが書いた先生の似顔絵

「その三」

診察券は、外来用・入院用と二枚程度にするか、一枚にしていただけないでしょうか？カードが多くとあると色々な科にかかっている場合かさばって大変だと思えます。松江・出雲の方は一人一枚という所が多いようですが…。

仕方がないことかもしれませんが、病氣の人を一時間位待たせるのは異常なことだと思います。スムーズな支払い方法を考えてほしいのです。コンピュータが、かえって不便なことになるというのは何かおかしいと思います。

医事課より：：

現在、受付窓口・薬局窓口の付近は工事中により皆さんに大変ご迷惑をお掛けしております。今回の院内OA化ならびにコンピュータの更新などにより、一人一枚の診察券（磁気カード）になることが決定しております。また、十月一日より、古いコンピュータと新しいコンピュータの入替えを行ったため、しばらくの間、計算がまたつく事がありますが、ご了承願います。

「その四」

最近、大変紙質が良くなって官庁の広報みたいな感じがする。以前の手作りの方が親しみがある。それに赤字節約のためにも安い悪い紙質で手作りのほうが良いと思う。また、「声」の欄を設けると良い。こんな声を載せてほしい。

編集部より：：

病院広報誌を発行してもうすぐ一年が経とうとしています。本年四月より、隠岐島内全戸配付を行うようになります。毎月約一万枚を発行しております。編集部の手によって原稿を集め、広報誌を作っていく訳ですが、印刷も自分たちで行うため、どうしてもざら紙などの紙質では思うように印刷ができないのです。広報誌に使用している紙は大量に仕入れられているため、ざら紙とさほど変わらない値段ですのでご了承願います。



異動

採用

* 大田 宣弘 (病院長)

— 島根県立中央病院より



あとかき

夏の終わり、世界中から愛された女性が、相次いで亡くなりました。一人は、ダイアナ元妃。エイズ基金やガン撲滅など慈善活動に積極的に参加し、平和を願う真実の愛を求め、激しく華麗に生きた女性でした。最後は「愛されすぎたゆえの死」とも言えるかもしれません。またもう一人は、「カルカッタの聖女」とも呼ばれたマザール・テレサ。貧しき人、病んでいる人に仕えることにその生涯を捧げた人。その活動は宗教を越え、世界中の人々から支持されました。貧しき人を救済するには、もっと政治や行政に働きかけねば…の声にも「私は、ある人の世話をし、できればもう一人の世話をするだけだ」と一人一人を大事にすることを心がければ、大きなマスを扱っていただくと答えました。愛と奉仕に尽くした二人の死。あなたは、どう感じましたか？